



MSW ニュース No.145 号

発 行：沖縄県医療ソーシャルワーカー協会 広報部
編 集：與座 千夏（大浜第一病院）
事務局：沖縄県総合福祉センター 西棟 2 階 小規模団体室
〒903-8603 那覇市首里石嶺 4 丁目 373-1
TEL ; 090-3790-2756 FAX ; 098-893-1221
E メール ; jim.msw.oaswhs@gmail.com

回覧などの際はプリントアウトなどしてください

目 次

・研修報告	2p
・実習生受入報告	2-3 p
・新入会員紹介	3p
・ゆたしく うにげ～さびら	4p
・トピックス（琉球新報「福祉の窓」掲載済記事）	4-6p
・各部会からのお知らせ	6-8 p
・理事会議事録	8-14p

< 休 載 >

- ・入退院支援連携デザイン事業報告
- ・自主勉強会報告

研修報告

第46期 全日本民医連 2025年 生活アセスメント研修会を通して

沖縄協同病院 地域連携課 MSW 稲福 北斗

今回の研修では「生活アセスメント」について生活アセスメント研究会の山平先生に講演いただき、グループワークを行った。

生活アセスメントとはクライエントをひとりの生活者として身体医療的・心理社会的・経済制度的・社会史的側面からアセスメントを行い「総括表」を用いて支援していくことと教えていただいた。

私自身、普段の業務でアセスメントを行い支援しているが、今回の研修を通して無意識のうちに視野が狭くなっていることを痛感させられた。多忙な業務の中、すべてのケースでやる「総括表」実施することは難しいが、特に困難ケースでは有効であると学ばせていただいたので今後ぜひ活用していきたい。

山平先生自身も「総括表」をツールとして患者が不利益にならないように他職種へ働きかけていること、実体験を交えて教えて頂いた。私自身もそのような MSW になれるよう目指していきたい。

また、今回は全国の民医連に加入している病院・包括・施設の SW が参加しており立場は異なっても同じ悩みや苦労を抱えて支援を行っていることを実感した。一人では支援が難しい課題でも全国の民医連 SW と協力・連携していくことで支援の道筋がみえてくることがあると改めて感じた。このようなつながりがあることを心強く思う。

実習生受け入れ報告

実習生受け入れ報告

とよみ生協病院 地域連携課 玉那霸夏汀

とよみ生協病院では、昨年度より実習生の受け入れを開始いたしました。新しい病院で、実習生を受け入れられることを嬉しく思います。

昨年度は、実習ⅠおよびⅡをそれぞれ1名ずつ受け入れました。実習における当院の特徴について考えてみました。まず、地域包括ケア病棟と回復期リハビリテーション病棟という異なる機能をもつ病棟があり、それぞれのカンファレンスや面談に実習生が同席することで、病棟機能の違いを実感しやすいと考えます。

また、在宅退院される患者さんが多く、地域の他機関との連携を実際に見ることができます。加えて、急性期病院、訪問診療、訪問看護、地域包括支援センターなど、系列に多くの関係機関があるため、医療現場に加え、地域での支援の様子を実習中に見学できる機会もあります。

実習全体を通じて「地域で生活していた方が入院し、再び地域に戻って生活する」というプロセスを、学べると思います。

最後に、私が実習指導において大切にしているのは、「60時間、180時間を、実習生にとっても指導者にとっても有意義な時間にすること」です。毎日の実習記録へのフィードバックは手間がかかる部分もありますが、支援内容を言語化することで、自身の振り返りにもつながっています！

今年度も実習生とともに、実りある良い実習となるよう頑張ります！

新入会員紹介

めだか 2年目のご挨拶

沖縄赤十字病院 患者支援センター相談員 國仲晃平

初めまして、昨年度より沖縄赤十字病院に医療ソーシャルワーカーとして勤務している國仲晃平と申します。

1年目の頃は、先輩方のご指導のもと、さまざまな病棟と一緒に担当させていただきながら、外来での相談業務にも携わる機会をいただき、多くの貴重な経験を積むことができました。

現在2年目となり、整形外科と脳神経外科の混合病棟を主に担当させていただいている。

業務内容としては、急性期治療を終えた患者様の回復期リハビリテーション病棟への転院支援や、自宅退院に向けた介護・医療サービスの調整などを行っております。

まだまだ未熟な点も多くございますが、ひとりひとりの患者様とそのご家族にしっかりと寄り添った支援ができるよう今後も研修や勉強会などを通して学びを深め、知識と経験を高めていきたいと考えております。

これからさまざまな場面で関わらせていただく機会も増えてくるかと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

ゆたしく うにげ～さびら

友愛医療センター 地域医療部 入退院支援室 MSW 丸尾大雅

友愛医療センターは、県南部医療圏(豊見城市)にある病床数 388 床を有する急性期の医療機関です。

県内や周辺離島からも積極的に救急患者を受入れる体制を整えており、患者搬送にも対応できる高規格のドクターカーや、ドクターへリをはじめ一部の大型機も駐機できるヘリポートを備えています。

地域医療部は、地域からの入院や他院からの転院を受入れる窓口として地域連携室、外来から入院前・入院中の患者相談や退院調整を担う入退院支援室で業務を分担しています。また空港に近い立地であることから、海外から来院される患者対応の窓口として、外国人対応コーディネーターを配置しています。そのほか、がん治療と向き合う患者支援の窓口として、がん相談センターを設置、看護師・MSW をそれぞれ 1 名配置し、支援体制の強化を図っています。

地域のみなさまに選んでいただける病院を目指して、チーム一丸となって取り組んでまいります。どうぞよろしくお願ひいたします。

トピックス

治療と仕事両立するには。会社に「主治医意見書」を

琉球新報 福祉の窓 2025年6月21日掲載済
沖縄県医療ソーシャルワーカー協会 糸数真理子

質問

現在、私の夫は脳出血で倒れ入院しています。夫は生きがいにしてきた仕事に復職することを目標に、毎日リハビリを頑張っていますが、片側にまひが残り復職できるか不安です。サポートしてくれる制度はありますか？

答え

大きな困難にあっても、仕事を続けることは、とても大事なことだと思います。

病気を抱えながらも、働く意欲・能力のある患者さんが生き生きと仕事を続けるために「治療

と仕事の両立支援」という取り組みがあります。治療と仕事の両立を支援する第一歩は、患者さんが会社に復職を申し出ることから始まります。その際には、会社が両立支援を検討するためには必要な情報を提出する必要があります。

まずは①「勤務情報提供書」などの会社が定める様式を活用して、業務内容や勤務時間など、自らの仕事に関する情報を主治医に提供します。その情報を元に、②主治医が「主治医意見書」を作成し両立支援に必要な症状(後遺症)、治療の状況、配慮事項等の情報提供を受けます。「主治医意見書」を会社に提出することで、会社は両立支援の検討が可能になります。そして、患者さん本人と会社との話し合いにより具体的な③職場復帰支援プランを策定していきます。

厚生労働省ホームページ「治療しながら働く人を応援する情報ポータルサイト 治療と仕事の両立支援ナビ」には、両立支援の流れや①～③の様式、利用可能な支援制度などが紹介されています。

インターネット環境がない方は、会社の産業保健スタッフや人事担当者、または病院の医療ソーシャルワーカーにお気軽にご相談ください。

ヤングケアラーへ何ができる？ 連携による支援重要

琉球新報 福祉の窓 2025年7月19日掲載済
沖縄県医療ソーシャルワーカー協会 與座千夏

質問

最近テレビで、ヤングケアラーという言葉を耳にしました。妹や弟のお世話、家事や介護のお手伝いをすることは良いことだと思うのですが、どのような問題があり、ヤングケアラーに対して、できることはあるのでしょうか。

答え

ヤングケアラーとは「家族の介護その他の日常生活上の世話を過度に行っていると認められる子ども・若者」のことを指します。ここでは「過度に」という言葉がポイントです。こども家庭庁の定義では、家族の介護や世話をすることで、子どもとしての健やかな成長・発達に必要な時間(遊び・勉強等)を、若者においては自立に向けた移行期として必要な時間(勉強・就職準備等)が奪われたり、ケアによる身体的・精神的な負担が重い状態になっている場合を指すとされています。しかしここで大事なことは、家族の抱える事情はさまざまあることから、家族間で助け合うこと自体は悪いことではない、ということです。

令和4年度の実態調査によると、沖縄県内のヤングケアラーと思われる子どもは、児童生徒全体の5.5%(約7450人)もいると推定されています。また自分自身がヤングケアラーであると認識していない児童生徒がいる可能性も示唆されており、気付きにくい構造があるため連

携による支援が重要です。地域では見守っていること、気にかけていることを伝えてみることが助けになる可能性もあります。

家庭というデリケートな問題ですが、民生委員・児童委員との情報共有や市町村のヤングケアラー担当窓口のほか、インターネット上に支援マニュアルもありますのでぜひご活用下さい。

各部会からのお知らせ

【 研修部 】

研修部より

■自主勉強会・めだかの学校

対象	対象者:おおむね実務経験3年以下
日時	調整中(開催決定次第、各病院へFAX・グループLINEでお知らせします)
参加方法	事前に下記までお問合せください
内容	自主勉強会
問い合わせ	博愛病院 永井(098-889-4830)

■自主勉強会・めだかのホームルーム

対象	対象者:おおむね実務経験4年以上
日時	① 2025年9月9日(火)19:00~20:30 ② 2025年11月14日(金)19:30~交流会
参加方法	① ZOOMにアクセスしてください。 https://us02web.zoom.us/j/81920987786?pwd=LJagJOgABtGaxcW0RJIcp1ItvMI0CX.1 ミーティングID: 819 2098 7786 パスコード: 681590 ② 前に下記までお問合せください。
内容	事例検討
備考	奇数月の第二火曜日にオンライン開催。 画面オフでも参加OKです！
問い合わせ	沖縄協同病院 兼濱(098-911-5167)

■自主勉強会・めだかの放課後「事例研究について学ぶ～実践を理論的に見る～」

対象	会員のみ
日時	調整中
参加方法	事前申込
備考	開催日決定次第、協会ホームページ「研究案内」で案内
問い合わせ	大浜第一病院 嘉手納(098-866-5171)

✿その他

九州医療ソーシャルワーカー協会教育研修部公式 BLOG

「医療ソーシャルワークサプリ from 九州医療ソーシャルワーカー協議会」更新中！

こちらの QR コードからご覧ることができます



【広報部】

・新企画検討中 アイデアも随時募集中!!

・「ゆたしく うにげ～さびら」(自施設、部署など紹介コーナー)では、

会員所属の病院、施設の魅力を絶賛掲載中!!

掲載希望の方は事務局 E メールでご連絡ください！

【社会活動部】

■ 親睦会を開催しました

6月14日(土)に宜野湾市の飲食店で5年ぶりに開催しました。参加会員14名のうち3名は初任者で実践における期待や不安を楽しそうに語っていました。交流は5時間続き、近況報告や医療機関の情報交換などで話が盛り上がり、キーワードであった『ヨコのつながりをつくる』こともできました。結婚した方、家を建てた方、某有名バンドの沖縄ライブに当選した方、某アーティストのライブに2日間参加した方、昇進した方、推し活を頑張っている方など、MSWのその人らしさや素晴らしいところを感じた時間にもなりました。

また企画します。

会員の皆さんからも「こんな交流をしたい」を募集しています。



■ 県民健康フェア

『第 12 回 県民健康フェア 2025』が今年も開催されます。

日時: 2025 年 8 月 17 日(日)12:00~16:00

場所: 沖縄コンベンションセンター展示棟

主催: 沖縄県医療保健介護連合(なごみ会 21 団体)

「医療ソーシャルワーカー」や「医療福祉」について多くの来場者へ楽しくお伝えができ、社会的認知につながる機会になります。会員みなさんのご参画をよろしくお願いします。

■ ソーシャルワーカーとしての平和の擁護を考える

戦後 80 年、被爆 80 年の 2025 年。広島県 MSW 協会が平和の擁護を考える講演を企画しています。ZOOM オンライン、参加無料、どなたも参加可。興味がある方はご参加ください。

日時: 2025 年 9 月 13 日(土)13:30~16:30

概要および申込み先: <https://hiroshima-msw.sakura.ne.jp/>

■ 『福祉の窓』(琉球新報・新聞掲載)

実際にある相談内容や地域課題について毎週土曜日に掲載されています。MSW の専門性、権利擁護、制度活用などを考える機会にもなります。新聞紙面にてご覧ください。

理 事 会 議 事 錄

6月理事会報

2025年度 沖縄県医療ソーシャルワーカー協会理事会

2025 年 6 月 16 日(月)19:00~20:00

場所: 中頭病院リモート併用(Zoom)

【出席者】、當銘由香副会長、安慶真樹名副会长、(書記)、高江洲アヤ子、長原野、奥平藤

也、大城将平、玉那霸夏汀(連絡)、オブザーバー:樋口美智子、高澤信哉、嘉手納泉也、兼濱愛里、宮城幸之佑(司会)

【委任者】新垣哲治会長、秦克之事務局長、伊禮智則、池間俊、大嶺洋、宮城郁美

<各部報告・協議事項>

〔研修部〕以下の報告を受けました

□(1)自主活動支援

①めだかの放課後『事例研究について学ぶ実践を理論的に振り返ろう!』

2025年度 第1回 未定

問い合わせ先:沖縄国際大学/樋口、大浜第一病院/嘉手納

②めだかのホームルーム 担当:兼濱 @Zoom 開催

2025年度 第2回 7月8日(火)19時~ 事例提供:前原さん(琉大病院)

第3回 9月9日(火)19時~ 事例提供:玉那霸さん(とよみ生協病院)

*広く会員に参加してもらえるように事前に公式ラインで広報し、画面オフでも参加可とする。

③めだかの学校 担当:永井・玉那霸

2025年度 第1回 7月5日(土)14時~16時 施設見学(老健シルバーピアしきな)

(2)九州協議会関連事業 担当:池間

九州大会:佐賀大会 11月22日(土)~11月23日(日)

講師:京都大学 篠田大輔先生

内容:社会的処方について

次年度以降:2026年度 鹿児島開催、2027年度 沖縄開催予定。

(3)全体スケジュール

①定例勉強会(総会抱き合わせ) 担当:安慶名

日程:5月21日(水)14時~15時

内容:「沖縄被害者支援ゆいセンターの活動について」 参加:30人

講師:富村愛子氏(沖縄被害者支援ゆいセンター)

場所:ともかぜ振興会館*

②初任者研修

初任研スケジュール

日付	時間	担当・内容(講師)
6月14日(土) @北中城若松病院	14:00~16:30	オリエンテーション 申込:8人 参加:7人 スタッフ:5人
7月13日(日) @とよみ生協病院	9:00~16:30	医療制度改革の変遷と MSW 業務(樋口氏) 医療ソーシャルワーカーの価値・倫理(宮良氏) アセスメント(島袋氏) 記録について(當銘氏)

7月27日(日) @沖縄協同病院	9:00～12:30	脳卒中(南部医療センター竹下朝規医師) +1 糖尿病(中部病院 島袋瑞枝 看護師) +1 認知症(那覇市立病院 嵩原安嗣 看護師)
8月24日(日) @ハートライフ病院	9:00～17:00	急性期(宮城氏) 回復期・地域包括ケア(大城氏) 緩和ケア(長氏) 精神科(新垣病院:知花 MHSW) 生活保護(高江洲氏) 医療保険(喜舎場氏)
9月7日(日) @中頭病院	9:00～14:50	介護保険(CM) 退院援助(伊禮氏、秦氏)

○対象: 実務経験おおむね 3 年以下の者

○謝金の支払い対応は事務局にお願いする。→講師の振込先などは事務局で対応

○シラバス申請の結果、26ポイント認定。

○講師謝金について 概算: 総額51, 000円以内とする。

③ 全体研修 担当: 池間

・「記録について生活支援記録法(F-SOAIP)」を全 3 回シリーズとして開催予定。

〔広報部〕 以下の報告を受けました

□MSW ニュース: No.144(5・6 月号) 勝山病院/崎濱さん

□公式 LINE 登録者数: 166 名(前月比:+4 名)

□公式ホームページ閲覧数: 1566 件(前月比:+47 件)

〔社会活動部〕 以下の報告を受けました

□福祉の窓: 6 月 21 日掲載予定(那覇市立病院)

□なごみ会健康県民フェア 実行委員会:

□MSW 交流会 14 人参加(うち 3 名初任者参加)

〔事務局〕 以下の報告を受けました

□入退会報告

入会届: 23 人(6 月 16 日現在)

所属先変更: 0 人

退会届: 0 人

〈その他 報告協議事項〉 以下の報告を受け意見交換を行いました。

□沖縄県入退院支援連携デザイン事業

6/20(金)R7年度契約を県と締結予定。

(1) 小規模離島市町村等での一般住民向け説明会: 2 回 担当: 安慶名

・渡嘉敷村 9/26(金) 開催予定。

・座間味村・阿嘉島2カ所 10/8(水) 開催予定。

(2) 入退院支援連携やその他の在宅医療・介護連携の推進に資する研修等の実施 担当: 當銘

- (3)の事例集作成の事業をもとに、関係機関を集めグループワーク等集合研修を予定。
- (3)市町村における身寄り問題を扱う体制の構築支援(事例集作成)
- 1) 関係機関多職種事例集策定員会:2回
昨年度の身寄りなしガイドライン策定員会の委員で、ワーキンググループ会議にて作成した事例の構成内容確認を行う予定。
 - 2) 多職種事例集ワーキンググループ会議:12回
ヒヤリング会議の内容を、事例に落とし込んでいく。5事例作成予定。随時事例作成中
 - 3) 多職種事例集ヒヤリング会議:3回
2市へヒヤリングした身寄りなし他機関連携の事例を、ワーキンググループで事例集として作成していく。1回目5/22(木)ヒヤリング済。

□施設紹介情報サイトはれるやの会員への紹介について
理事3役で話を聞き、会員向けへ働き掛ける必要性は検討。

□佐賀大会

大会テーマ:2025年到来!地域に求められる医療ソーシャルワーカー

~SAGA そう 活き残るための戦略~

開催日時:令和7年11月22日(土) 13:00~17:45

令和7年11月23日(日) 9:30~12:30

※次回理事会 2025年07月22(火)19:00~

司会:新垣 書記:玉那覇 連絡:長

議事録署名人 新垣 哲治

7月理事会報

2025年度 沖縄県医療ソーシャルワーカー協会理事会

2025年7月22日(火)19:00~20:00

場所:中頭病院リモート併用(Zoom)

【会場出席者】新垣哲治会長(司会)、當銘由香副会長、安慶真樹副会長、秦克之事務局長、伊禮智則、高江洲アヤ子、オブザーバー:宮城幸之佑

【ZOOM出席者】長原野(連絡)、奥平藤也、池間俊、大城将平、玉那覇夏汀(書記)、オブザーバー:嘉手納泉也、兼濱愛里、宮城幸之佑

【委任者】宮城郁美、大嶺洋、樋口美智子、高澤信哉

<各部報告・協議事項>

〔研修部〕 以下の報告を受けました

□(1)自主活動支援

①めだかの放課後『事例研究について学ぶ実践を理論的に振り返ろう！』

2025 年度 第 1 回 未定

問い合わせ先：沖縄国際大学/樋口、大浜第一病院/嘉手納

②めだかのホームルーム 担当：兼濱 @Zoom 開催

第 2 回 7 月 8 日(火)19 時～ 事例提供：前原(琉大病院) 参加：7 人

次回 9 月 9 日(火)19 時～ 事例提供：玉那霸(とよみ生協病院)

※広く会員に参加してもらえるように事前に公式ラインで広報し、画面オフでも参加可とする。

③めだかの学校 担当：永井・玉那霸

第 1 回 7 月 5 日(土)14 時～16 時 施設見学(老健シルバーピアしきな) 参加：11 人

次回 10 月ごろ 講師：香村 「有料老人ホームの種類について」

(2)九州協議会関連事業 担当：池間

九州大会：佐賀大会 11 月 22 日(土)～11 月 23 日(日)

講師：京都大学 篠田大輔先生

内容：社会的処方について

次年度以降：2026 年度 鹿児島開催、2027 年度 沖縄開催予定。

(3)全体スケジュール

①初任者研修

申し込み人数：29 人

初任研スケジュール

日付	時間	担当・内容(講師)
6月14日(土) @北中城若松病院	14:00～16:30	オリエンテーション 参加：7 人 スタッフ：5 人
7月13日(日) @とよみ生協病院	9:00～16:30	医療制度改革の変遷と MSW 業務 (樋口氏) 医療ソーシャルワーカーの価値・倫理 (宮良氏) アセスメント (島袋氏) 記録について (當銘氏) 参加：25 人 スタッフ：5 人
7月27日(日) @沖縄協同病院	9:00～12:30	脳卒中(南部医療センター竹下朝規医師)+1 糖尿病(中部病院 島袋瑞枝 看護師)+1 認知症(那覇市立病院 嵩原安嗣 看護師) 参加： スタッフ：5 人
8月24日(日) @ハートライフ病院	9:00～17:00	急性期(宮城氏) 回復期・地域包括ケア(大城氏) 緩和ケア(長氏) 精神科(新垣病院：知花 MHSW) 生活保護(高江洲氏) 医療保険(喜舎場氏) 参加： スタッフ：5 人
9月7日(日) @中頭病院	9:00～14:50	介護保険(CM) 退院援助(伊禮氏、秦氏) 参加： スタッフ：5 人

- 対象:実務経験おおむね 3 年以下の者
 - 謝金の支払い対応は事務局で対応
 - シラバス申請の結果、26ポイント認定。
 - 講師謝金について
 - ・辞退される講師には支払わない、・講師が複数の場合は当協会から依頼している方のみに支払う、・会員は費用弁償規定通り交通費往復分の支給とし講義時間の長さは問わない(休日のため自宅⇒開催地の計算)
 - 申込者からの問い合わせで入会金支払いの確認が多い。事務局に対応をお願いする。
- ④ 全体研修 担当:池間
- ・「記録について生活支援記録法(F-SOAP)」を全 3 回シリーズとしてオンライン開催予定。

[広報部] 以下の報告を受けました

- MSW ニュース: 144 号(7月発行) ⇒ 掲載に向け最終調整中
- 145 号(9月発行) ⇒ 担当:大浜第一病院/與座さん
- 公式 LINE 登録者数: 169 名(前月比+1 名、追加2名、解除 1 名)
- 公式ホームページ閲覧数: 1642 件(前月比+56 件)

[社会活動部] 以下の報告を受けました

- 福祉の窓: 7月大浜第一病院 8月大浜第二病院
- なごみ会健康県民フェア 実行委員会:
開催日8月17日(日)。各病院の新人 MSW にスタッフとして参加してもらう。

[事務局] 以下の報告を受けました

- 入退会報告
 - 入会届: 3人(7月19日現在)
 - 所属先変更: 0 人
 - 退会届: 0 人

<その他 報告協議事項> 以下の報告を受け意見交換を行いました。

- 沖縄県入退院支援連携デザイン事業
 - ①小規模離島市町村等での一般住民向け説明会:2 回 担当:安慶名
 - ・渡嘉敷村 9/26(金)開催予定。
 - ・座間味村・阿嘉島2カ所 10/8(水)開催予定。
 - ②多職種連携事例集の作成 担当:秦
- 1)多職種事例集策定委員会:2 回
 - ワーキンググループ会議にて作成した事例集(案)の構成内容確認などを行う
 - ⇒8 月に 1 回目を予定。

2) 多職種事例集ワーキンググループ会議: 6回

ヒヤリング会議で聴取した事例を基に事例集(案)を作成、修正などを行う

⇒ 3回開催済。6事例作成を進めている。

3) 多職種事例集ヒヤリング会議: 3回

特に身寄り問題に関わる事例を関係機関へ聴取する

⇒ O市、U市各2回開催済み。次回事例の最終確認9月頃予定。

③入退院支援連携やその他在宅医療・介護連携の推進に資する研修等の実施 担当: 當銘

R8年1月～2月頃の開催、②の事業で作成した事例集をもとに、グループワークを行うことを検討中。

□施設紹介情報サイトはれるやの会員への紹介について

7/25(金)理事3役で話を聞き、会員向けへ働き掛ける必要性の要否を検討。

・次回理事会で内容を確認する

□地域支援事業等市町村支援アドバイザリー事業・多職種連携ケアマネジメント基盤強化促進事業

参加者: 大城

7/14 打ち合わせ参加(沖縄リハビリテーションセンター病院大城)

今年度の多職種連携ケアマネジメント基盤強化促進事業は中央型ではなく地域型で開催(2～3回)の予定。5月に名護市で開催済。12月にはうるま市で開催予定。

・8/5 市町村向けの専門職団体の説明会。参加者: 安慶名。

□訪問歯科診療推進のための多職種連携事業 参加者: 安慶名。

7/2(水)第一回多職種連携協議会に参加。訪問歯科の推進を図る県事業について、各委員から意見を募っていた。次回8/7(木)開催予定。

□佐賀大会: 会員へ周知を行っていくことを確認した。

大会テーマ: 2025年到来! 地域に求められる医療ソーシャルワーカー

～SAGA そう 活き残るための戦略～

開催日時: 令和7年11月22日(土) 13:00～17:45

令和7年11月23日(日) 9:30～12:30

・研修部より池間参加

□那覇市ちゃーがんじゅー課との意見交換・情報共有について意見交換を行った。

※次回理事会 2025年08月18(月)19:00～

司会: 當銘 書記: 長 連絡: 奥平

議事録署名人 新垣 哲治

☆ 編集後記 ☆

夏の甲子園の季節となりました。当院でも沖縄尚学の試合が始まると患者さんが続々とテレビをつけ始め病棟全体で応援しています。特に 3 回戦の仙台育英高校との試合では相手チームの涙にこちらも胸が熱くなりました。次回の沖尚戦は 8/19(火)です。ぜひ一緒に球児たちの勇姿を見届けましょう！

MSW 協会 公式 LINE 加入のご案内

協会名を検索して「友だち追加」で完了！



<https://www.msw-oaswhs.jp/>



～医療と福祉の架け橋～ 一般社団法人
沖縄県医療ソーシャルワーカー協会
Okinawa Association of Social Workers In Health Services